



目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年10月 7日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.89

平戸市小学校陸上大会

先週、10月2日(木)に平戸市のライフカントリーにおきまして、平戸市小学校陸上大会が開催されました。

本校からは、5・6年生の11名が参加しました。

暑さ指数が高く、十分な練習はできませんでしたが、この日までに、自分たちで練習を積み重ねてきました。

思うように力を発揮できなかった人、自己ベストを出した人など、様々でした。悔しい思いや嬉しい思いを体験し、子どもたちは、また成長できたと思います。

昨日の昼に、校長室へ5・6年生が来て、私が練習のときに教えたことに対して、御礼を伝えに来ました。さらに、成長を感じました。

家族10分間読書にチャレンジ~その2~

前回に引き続き、読書についての話です。読書好きの子にするためのちょっとしたポイントを紹介いたします。

■ポイント1=本を常備する=

私が学級担任のとき、教室には50冊くらいの学級文庫を常備していました。「サバイバル」、「ノラネコぐんだん」シリーズなどの通常の読み物だけでなく、Newtonなどの科学雑誌、漫画の「ちはやふる」

などです。

あるとき、ある場面で、ふとその本を手に取りたいと思う瞬間が誰にでもあると思います。人生の発達段階やそのときの人生のシーンによって、その本の価値が変わります。だから、その子にとって、その本がいつ響くかわからないです。そのため、「取りたい」と思った瞬間に、近くに様々なジャンルの本があるかどうか大切です。

■ポイント2=周りの人が本を読む=

おうちの人、お兄ちゃんやお姉ちゃんを読むから自分も読む。このような現象はよく起こります。いわゆる、本を楽しんでいる人が身近にいと、読書好きな子に育ちます。

■ポイント3=本に出会う演出=

まずは、やはり、図書室や市図書館での本の出会いです。

次は、誰かが勧めた本です。誰かが勧めた本ならば、その本に付加価値が付き、楽しむことができます。おじいちゃん、おばあちゃんのお勧めの本など、楽しそうですね。

また、書店での出会いもあります。私がやっていたのは、「三冊買っていいから、選んできて」と言っていました。そうしたら、真剣に選びます。自分が真剣に選んだ本は進んで読みます。その後、その本を通して、親子の会話が充実します。